

函館市観光アドバイザー会議 第2回第二部会 会議録

- 1 日 時 平成17年11月1日(火) 14:00~16:00
- 2 場 所 アクロス十字街 2階 会議室
- 3 参集者
 - ・根本部会長，土田委員，丸藤委員，松木委員，
阪口委員 (欠席：鎌鹿委員，松原委員，阪口委員)
 - ・報道機関(函新)
 - ・事務局(山本参事，寺澤主事)
- 4 内 容
 - (1) 開 会
 - (2) 部会長挨拶 **根本部会長**
 - (3) 資料説明 **寺澤主事**
 - (4) 討 議

【 検 定 】

根本部会長

- ・本日は2回目と云うことで，前回の「ひとづくり」と「情報化」のお話をさらに掘り下げて討議したい。そしてできれば次回開催される全体会議に報告できるような形にしたい。
- ・実施主体はほとんどが会議所と考えて良いか(Y E S)。こういう検定ものはなんの疑問も持たないで会議所というふうになるが，会議所はこれまでこういう取り組みはしたことがあるのか。

松木委員

- ・当初会議所青年部では，パコスマを実施する際に，ドライバーのガイド認定を行い認定シールを貼ることなどを考えたが，一度にそこまで行くのは難しいとのことで現在のものになった。
- ・シティガイドの認定に関しては継続して検討すると云うことになっている。
- ・ガイド検定の経験はないと思うが，テキストは会議所内ではなく学識経験者，知識者などが集まって作成し，その窓口，システムの管理などは会議所が常にやっていることなので対応できると思う。

根本部会長

- ・担い手としては会議所が妥当だね（全員一致）

丸藤委員

- ・検定に関してはいろいろとノウハウを持っていると思う。試験会場の作り方，試験監督の仕方，合格者の発表などいろいろと細かく大切な部分を知っていると思う。
- ・中身については，やはり会議所内部だけではなく外部の意見も入れた方がいいと思う。

根本部会長

- ・この場で，会議所に検定の窓口をやってもらうとなった場合に，市の位置づけはどのようなのか。

寺澤主事

- ・市でも会議所がそのようなノウハウを持っていると思う。現在，パコスマを行っているが，これに検定を行うとすれば，予算面や人的面で充足していない部分がでてくると思うのでそのあたりの支援ができればと思っている。
- ・その取りかかりとして，まずはテキストを編集する組織を立ち上げることが必要と思っている。

根本部会長

- ・われわれの役目は，そういうことを具体化して意見書として提出し，それを受けて商工観光部が予算化していくということか。
- ・こういう本は，2,000円を超えると手が出づらくなる。

丸藤委員

- ・京都の検定はどの級も同じテキストか。（YES）

根本部会長

- ・級分けをする必要があるだろうか。他のところはどういう設定をしているのだろうか。1級をとればどうか，2級ならどうか・・・。
- ・資格を通して，観光ファンクラブというか，そういうネットワークをもっていれば全国的に情報のやりとりができると思う。

丸藤委員

- ・中身を見るとスープカレーなど結構最新の情報が載っている。検定を行う人達は最新の観光に敏感になり，常に新しい情報を検定に盛り込まなければならない。
- ・歴史の部分は一度書くとそれきりでいいが，最新の情報は次から次へと変化していく。最新情報が入っていないと受ける方もおもしろくないと思う。自分たちの感性よりも問題が古ければ興味を持たなくなると思う。

根本部会長

- ・既存のボランティアガイドの人たちと，この検定をどうリンクさせたらよいか。
- ・こういう検定の問題点は，有資格者と無資格者の差をつけてしまうと云うことで，持っていないで活動している人たちが，どういう感情を持つのか。そこが心配事。みんなが取って宣伝してくれればいいが・・・。
- ・仕掛ける方で何が重要かと云えば，情報だと思う。なぜ受けに来たのか，どういう思いを函館に思っているのかなど，レベルの高いアンケート調査ができると思う。検定は，受験して上級者が何人増えたとかが重要ではなくて，そういうものが重要だと思う。

松木委員

- ・他の都市では，何年に1回テキストを更新するなど決めているのだろうか。でなければ最新情報を書き入れるのは難しい。
- ・歴史的な不変情報は本を作成し，最新情報は差し込んでいくというのはどうだろうか。

土田委員

- ・ライセンスの等級で分けるのではなくて，地区のエリアで分けて，それをいくつか取れば，全体をガイドできると云ったようにするといいと思う。
- ・テキストもエリアごとの章立てにして，最新情報は最後の章にすると，改訂するときそこだけ換えればいい。毎年最新情報が出るというわけではないので，何年かに1度換えていけばいいと思う。
- ・広域部分も増えたから，函館はエリア的に随分広い。

丸藤委員

- ・最新情報は本に随時盛り込まなくても、講習会などで配付すればいい。そうすれば講習会の有効性も上がると思う。

根本部会長

- ・本の値段の上限は札幌だと思う。2,000円以下(1,500~2,000)で、それ以上情報を入れると重たくて誰も読まなくなる。京都は専門的すぎると思う。
- ・講習会は必要だろうか。

丸藤委員

- ・受ける側にしてみればいきなり本番より、随分いいと思う。
- ・受ける前の講習会とバージョンをアップする講習会があつてよい。

松木委員

- ・受験のための講習会ではなくても、数年に一度、更新情報を聞くなり合格者にとっても必要性はあると思う。

根本部会長

- ・日本で観光のアレンジを仕事としている人っているのだろうか？
- ・テレビで見たことあるが、アメリカでは、費用と日数と希望を云々とツアーの日程を組んでくれるところがある。
- ・国民性なのか、日本人はいろいろ決めてから旅行に行く。

松木委員

- ・日本は駅でも空港でも、目的地までの手段を案内するところが無いと聞いたことがある。モノレールでも電車でも、バスでも乗り場までの案内はあるが、どれを使って行ったらよいか聞くところがない。函館でも必要だと思う。

土田委員

- ・コンシェルジュが試験的に今年実施されたが、その程度のことであれば、駅の案内所でも今は教えてくれる。ホテルの予約だとかは無理だが・・・。
- ・昔はよく(JTBの)支店に連絡が来た。

- ・日本人は出発する前にどの交通機関で行くかぐらいは決めてくるので、ビジネスとしてアレンジする仕事は成り立たないと思う。
- ・ただ、行った先でどういうことをするのか、余暇時間をどう過ごすのかは案内が必要とのことで、今年コンシェルジュを実施したと思う。

根本部会長

- ・話をまとめれば、システムのいうと、話し合った内容で行政に要請して、それを受けて行政側が会議所と打合せをし、さらにテキストを作るシステム作りをする。テキストは札幌を上限にして・・・。
- ・取った人がどういうふうに使っているのかとか、階級にどういう意味があるのかなどは行って聞いてみないと分からない。どういう使い分けをしているのか、受ける人はどういう意識で受けるのかなども・・・。そういう調査も必要だと思う。
- ・あと講習会の位置づけをしなくてはならない。受験のためであったり、バージョンアップのためであったり、生涯学習であったりなど・・・。
- ・他に合格者のネットワークも必要だと思う。

丸藤委員

- ・講習会に鎌鹿委員の云う、英会話だとか救命救急を入れれば良いと思う。

根本部会長

- ・なるほどと思ったが、検定にそこまで入れると難しいと思う。
- ・階級のシステムが決まった時点で、そこら辺を決めていけばいいと思う。

松木委員

- ・外国人の対応は、函館在住の外国人にやってもらえばいいと思う。市役所では住民登録とかでそこら辺は押さえられますよね。

寺澤主事

- ・押さえてはいますけど、我々では把握できません。むしろそういう方々を活用するとすれば、国際交流センターの方々だが協力できるかも知れません。

根本部会長

- ・ 会議所で事務局はするが、それ以上に検定を生かすには行政とか街づくりセンターなどとかが協力し合って行かないといけない。

【 情報化 】

根本部会長

- ・ 前回論議したのは、携帯とか、カードとか包装紙とか、あと駐車場の問題だったと思う。札幌では車向けに駐車場情報を出している。青森もやっている、はこだてはそれほど必要だろうか、それほど駐車場を求めるニーズってあるのだろうか。みんな路上駐車するのではないだろうか。

松木委員

- ・ ベイのところも有料にしたとたん、あんなにあふれていたのに、今は随分空いている。

根本部会長

- ・ 東京とかでは当たり前だが、駐車料金を支払う抵抗感があると思う。
- ・ こういう現状からすると、駐車場の空き情報を提供しても意味がないように思う。

土田委員

- ・ 観光客には有効な情報だと思う。マイカーに対するというより、レンタカーに対する情報提供と考えた方がよい。レンタカーで来た人はその場所も分からないと思う。
- ・ 携帯からその情報に入っていくと云うより、カーナビにそういう情報は既に入っている。
- ・ 旅行の主流はレンタカーになっている。個人旅行の7～8割はレンタカーを利用している。

丸藤委員

- ・ 函館に駐車場マップはあるのだろうか。

寺澤主事

- ・専用のもはないが、函館ガイドマップに駐車場の情報は入っている。

松木委員

- ・東京とかのカーナビには駐車場の満車だとか空きだとか情報が詳細だが、北海道のカーナビにはそれほどの情報までは載っていない。
- ・駐車場を探してうろうろする時間ってすごくもったいなく感じる。

根本部会長

- ・行きたい場所と、それに伴う駐車場の情報の提供が必要となる。

土田委員

- ・そういう情報提供があれば、100円200円払っても駐車場に止めた方が、路上駐車して捕まるよりましだと思えると思う。
- ・レンタカーに対する情報提供が必ず必要だと思う。

根本部会長

- ・レンタカー会社と提携して、有料駐車場のカードを無料にするのは可能だと思うがどうだろうか。

土田委員

- ・付帯設備にお金がかかると思う。

松木委員

- ・でも、いくら払うと止め放題というのはいいかも知れない。それが観光施設の入場料金とセットになっていればよい。
- ・年間フリーパスなんかあると随分いいと思う。

根本部会長

- ・そういった観光客にも受け入れやすいシステムは、実は市民にも大切なものなのかも知れない。
- ・旭山動物園とかも随分安いんですね。

土田委員

- ・地球博も安く，年間パスも随分安かった。沖縄の美ら海水族館は1回 3,000円と高いけれども，フリーパスが2回分ぐらいで，地元の方はそれを買う。その方がお客さんを連れて行きやすいからだ。
- ・函館にいたらロープウェイもパスがあったらいいと思う。
- ・先ほどの検定に合格したガイドは無料とかにすると価値も上がると思う。その他の施設についてもそうすればいいと思う。

根本部会長

- ・市民にお得感があり，観光客にも喜ばれるようなものがあると思う。
- ・行政は収入も大事にしているが，それ以上に利用率に重きを置いている。利用数によって予算を獲得するようになっている。
- ・情報化とサービスをうまく組み合わせればいいものができると思う。
- ・流れていく情報もあるが，ストップする情報もあると思う。たくさん流せばいいのではなくて，広がっていくようにクオリティを気にする必要があると思う。
- ・生活の中から生まれてくるのは必要なものなのだと思う。特別なものは長続きしないと思う。
- ・それと別な話になるが，感想を聞きたいものがある。バル街だけれど，過渡期にきていて，右肩上がりで大きくなりすぎて，今後，観光に生かすという方向性と，本当に楽しめるサイズにとどめてしまうとう考えがあるんだけど…。個人的にはうまくいけば観光にいかせる資源だと思うのだが…。

土田委員

- ・「観光」という方向に持って行かない方がいいと思う。市民が楽しんでいるところに観光客は自然と刺さっていくが，観光客向けになると絶対に廃れると思う。
- ・エリアの人が年に何回か楽しむといった方がいいと思う。観光客向けになると地元の方は引いていくと思う。

丸藤委員

- ・私もそう思う。普段あのような対応をされると怒るけれども，あのようなサイズでやっているから楽しく感じるのだと思う。

根本部会長

- ・ 普通一軒の店に長くいて、何軒も転々とししない。はしごする楽しさがある。すごく健康的というか安全性があるので、隣の人ともつい話をしてしまう。
- ・ 今、大門横町もすごいですよね。小樽とかは平日空いていて大変だといっていた。やはり市民をないがしろにして 観光一本では無理なのかも知れない。

寺澤主事

- ・ 今回話し合われた内容を集約し、部会長と協議した上で全体会議へ報告するものとしたい。
- ・ 全体会議は池田が21か22日に帰ってくるので、そのときに全体会議を開催したいと思っている。

根本部会長

- ・ 次回も昼間か？（今回昼間だったので、今回は夜行う）
- ・ であれば私と丸藤さんは22日はだめです。（了解）

(5) 閉 会